

北野病院からのお知らせ

腎臓病教室のお知らせ

腎臓病を知っていただくために腎臓病教室を開催します。ご家族の方も一緒にご参加ください。なお、内容は変更する場合がございますので、予めご了承いただきますようお願いいたします。

◇腎臓病の薬について
利用できる福祉制度とは
日にち／平成29年2月28日(火)
担当者／薬剤師・医療ソーシャルワーカー

- 時間：14:30～15:45
- 場所：きたのホール
- お問い合わせ：血液浄化センター
TEL.06-6312-1251



無料でご参加いただけます。また、事前のお申込なども必要ありませんので、お気軽にお越しください。

救急講習会のお知らせ

救急車が来る前のAEDと心肺蘇生がポイントです！救急部看護師による胸骨圧迫・AEDなど心肺蘇生法の講習会です。実際に成人・小児の人形を使って胸骨圧迫・AEDの講習を行います。

- 日時：平成29年3月10日(金)
10:00～
- 場所：北野病院 5階 第6会議室



もしもの時のために、ぜひご参加ください。無料でどなたでもご参加いただけます。お気軽にお越しください。
※お子様と一緒にの受講も可能です。

- お申込み (TEL)06-6312-1221
北野病院 救急部(1階)へ直接、またはお電話での予約、もしくは当日10時に北野ホール前にお越しください。

車いす寄贈者(平成28年11月)

稲垣 佐衣様



寄附者一覧(平成28年10月～12月)

【法人】ナカジマ鋼管株式会社
医療法人わかばエル アンド エム様
株式会社スヴェンソン様
医療法人さくら会様
信州大学医学部産婦人科学教室 巖松会様
匿名 24法人様

【個人】下竹 克美様、東田 光博様、岡本 勝彦様、池田 啓一郎様、兵頭 厚子様、土屋 和之様、渡辺 昌裕様、王 龍三様、瀧 孝好様、瀧 久美様、中川 陽子様、年 榎 久栄様、長田 亮介様、芦田 敬様、増谷 孝一郎様、清水 元彦様、塩尻 英雄様、西川 諒一様、小金平 稔様、堀内 晶子様、中井 健様、今井 努様、鳥江 三也様、大平 哲史様、岩田 弘三様、安本 重一様、匿名 14名様 (順不同)

5階プラナホールイベント

◇第9回 ヴォーチェ・アモーレ コンサート

日時／平成29年2月27日(月)15:00開演
出演／ヴォーチェ・アモーレ

◇第11回 北野病院音楽部 定期演奏会

日時／平成29年3月11日(土)15:30開演
出演／北野病院音楽部

◇スプリングコンサート

日時／平成29年3月24日(金)15:00開演
出演／ゆり・まほ・かれん・けいた・さおり・くみか・コーラス

無料でご参加いただけます。また、事前のお申込なども必要ありませんので、お気軽にお越しください。

きたのキドニーデイ 2017

腎臓病患者が増加しています！あなたの腎臓は大丈夫ですか？腎臓病とメタボリックシンドロームには深いつながりがあります。生活習慣が大きく関連している腎臓病について、みなさん学びに来てください。

- 日時：平成29年3月10日(金)14:00～15:30
- 場所：北野病院 5階 プラナホール
- お問い合わせ：血液浄化センター
TEL.06-6312-1251

検査体験コーナーもありますので、是非ご参加ください。

無料でご参加いただけます。また、事前のお申込なども必要ありませんので、お気軽にお越しください。

～表紙写真撮影者からのコメント～
撮影者：神経精神科医師 岩崎明日香

京都市在住時に雪が降り続く夜がありました。翌日、雪景色を求めて出掛け、雪化粧をした金閣寺に出会えた1枚です。



患者様と北野病院をつなぐ連絡帳

きたの通信

No.59 2017. 冬号

公益財団法人 田附興風会 医学研究所
北野病院



特集

「鼻かぜ」とは違う 副鼻腔炎について

「正しい予防法を知りましょう」

医療のコトバ これって何？

禁煙指導外来をご存知ですか？

かんごホットToday

患者さまの転倒予防に力を入れています！

あなたのまちのホームドクター

牛尾整形外科 (大阪市東淀川区)

きたのトピックス

北野病院からのお知らせ

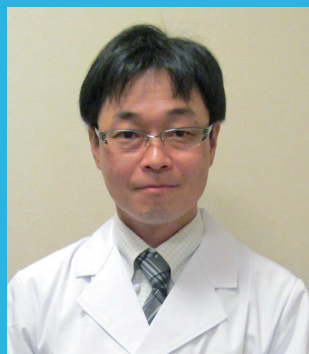
ご自由にお持ち帰りください

特集

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 副部長 坂本達則

「鼻かぜ」とは違う
副鼻腔炎について

「正しい予防法を知りましょう」



坂本副部長

鼻の中は「鼻腔」とその周りにある「副鼻腔」で構成されています。

副鼻腔炎は、副鼻腔に炎症を起こす病気で、鼻風邪のような症状ですが、人によっては慢性化してしまいます。今回は、副鼻腔炎について耳鼻咽喉科・頭頸部外科坂本副部長にお話を伺いました。



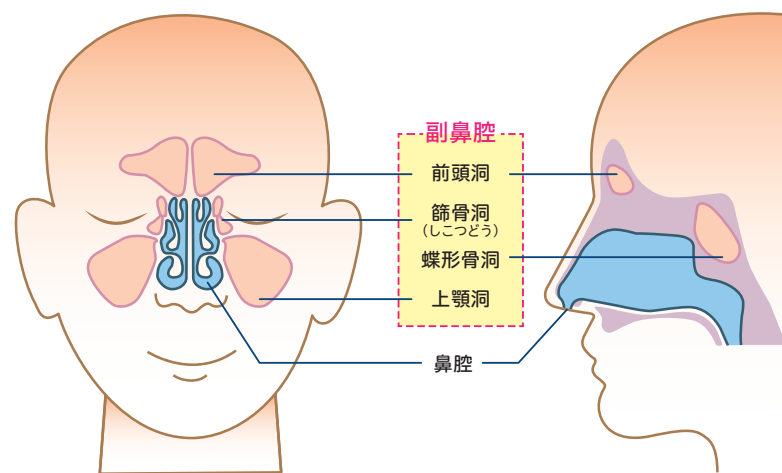
副鼻腔炎の症状と原因

副鼻腔炎には「急性副鼻腔炎」と「慢性副鼻腔炎」があります。急性副鼻腔炎は、細菌やウイルスの感染で副鼻腔に起こる急性の炎症で、適切な治療により、1週間程度で治ります。副鼻腔に由来する鼻水・鼻づまり・せき・痰・嗅覚低下・後鼻漏^(*)などの症状が2~3ヶ月以上続いた状態を慢性副鼻腔炎といいます。

副鼻腔炎を悪化させる要素として、アレルギー性鼻炎や鼻腔の形態の問題(鼻中隔彎曲症・肥厚性鼻炎など)があげられます。

(*)鼻水がのどの方向に流れること。

■鼻腔と副鼻腔の図



提供資料 済生会病院 症状別病気解説「副鼻腔炎」より

予防方法

日常における予防方法は、規則正しい生活、栄養のバランスを心がけ風邪を引かないように気をつけましょう。また、鼻水をためないようにし、日頃からアレルギーのコントロール・鼻の洗浄を行いましょう。

鼻の洗浄について

鼻の中を多量の生理食塩水で洗浄することは、副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎の症状を改善し、手術後の鼻粘膜の治りを促すと考えられています。



洗い方

真水では鼻粘膜を刺激しツーンと痛くなりますので、人肌くらいの温度(40℃くらい)の生理食塩水を使います。片鼻に対して250~500ml以上の生理食塩水を市販の洗浄器具を使って流し込むと、反対の鼻やのどから出てきます。両鼻を1日2回行うことをお勧めしています。

診断と治療

副鼻腔炎の診断には鼻の所見が必要です。鼻の穴を鼻鏡(びきょう)や鼻咽腔ファイバーで診ることが大切です。急性副鼻腔炎の初期症状は風邪の症状と似ていますので、内科でも治療できますが、症状の出ている場所を特定したり、鼻の処置を行ったりできる耳鼻科で治療される方がよりよいでしょう。

慢性副鼻腔炎に対しては、薬液の吸入(ネブライザー)や鼻の洗浄、マクロライド系の抗菌薬を少量ずつ飲み続ける薬物療法などがあります。それでも改善されない場合は、手術で病変を清掃し、副鼻腔の換気・排泄を促します。昔は歯茎を切って手術しましたが、最近では鼻の穴から内視鏡を入れて操作する内視鏡下副鼻腔手術(ESS)を行うことが多くなっています。ESSは低侵襲、つまり患者さんの負担が少ないだけでなく、より深い部位まで手術を行うことができます。

北野病院では、内視鏡で副鼻腔をしっかりと開放することで慢性副鼻腔炎をコントロールすることを目指しています。また、鼻づまりの原因になっている鼻腔形態に対する手術(鼻中隔矯正術や下鼻甲介手術)も同時に行うことができます。手術後は鼻の中には綿状の止血剤を入れますが、昔のようにガーゼを詰め込むことはなく、ガーゼを抜く時の痛みはありません。副鼻腔の隣にある目や脳の近くを操作するような、難易度の高い手術では、「ナビゲーションシステム」という装置でリアルタイムに手術で触っている部位を表示することで、より安全に手術を行うようにしています。



「ここ」がポイント!!

- ① 普段からアレルギー性鼻炎の管理や鼻の洗浄が大切です。
- ② 診断に必要なものは鼻の所見です。気になる症状がある時は耳鼻科にかかりましょう。
- ③ 手術で良くなる症状があります。



医療のコトバ

これって何?

聞いたことがあるような、ないような？
難しい医療用語などを
わかりやすく解説します！

禁煙指導外来をご存知ですか？

A
nswer

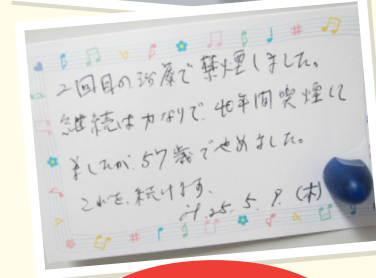
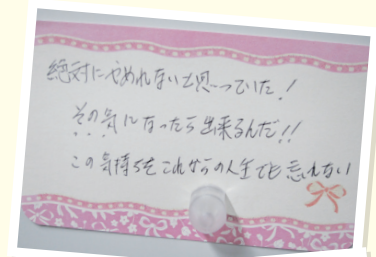
たばこの煙にはカラダに悪い多くの化学物質が！
なかでも、たばこの3大有害物質といえ……。

皆さんご存知かもしれませんが、たばこの煙には400以上の化学物質が含まれます。タバコに含まれるニコチン・タール・一酸化炭素は、たばこの3大有害物質と呼ばれています。ニコチンは血管を収縮させ血液の流れを悪くし、タールには発がん物質や発がん促進物質が含まれています。そして、一酸化炭素はからだを酸素欠乏状態にするため、動脈硬化を促進させる作用があると言われています。

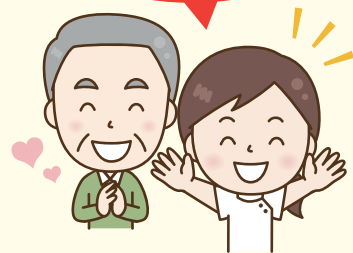
禁煙外来とは、手術前の方や病気により禁煙を医師から進められた方、一人ではなかなか禁煙をすることができない方々に禁煙の手助けをさせていただくところです。患者様が禁煙することで健康を少しでも取り戻せるようにし、禁煙を成功させることで、食事がおいしく感じられたり、喫煙していたときに出ていた咳や痰が止まったり、病気や生活習慣病への危険因子を減らします。

禁煙外来は禁煙支援士の資格を持った看護師が2名で、火曜日と木曜日に完全予約制で実施しています。指導期間は3ヶ月で5回の受診です。初回の指導時間は60分、2回目以降は30分としています。その中には、患者様に合わせて問診や一酸化炭素濃度の測定・喫煙とニコチン依存症についての説明、禁煙に対する具体的な説明(行動療法)、禁煙補助薬の説明(薬物療法)などをさせていただきます。いろいろな条件がありますが、条件を満たされていれば保険適応にもなります。

年間では145人、毎月13~20人の方が禁煙外来を受診されています。多くの患者様が禁煙に成功され、メッセージボードには、自信をつけられた患者様がメッセージを残し、新しく来られた患者様にも見ていただけるようにしています。禁煙外来は、患者様に禁煙が成功できるように支援させていただく場所です。



禁煙に成功された方の
メッセージです！



禁煙指導外来



禁煙支援士

看護の現場からホットなニュースをお届けします

かんごホット Today



患者さまの転倒予防に力を入れています！

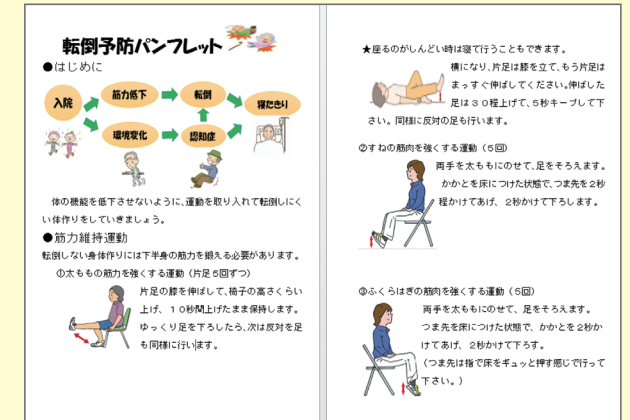
体操やレクレーションで 楽しみながら体を動かし、転倒予防する 「転倒予防教室」を始めました！



13階東病棟は、脳神経センター神経内科病棟となっています。脳卒中や神経難病(パーキンソン病など)、65歳以上の高齢の患者さまも多く、私たち看護師は患者さまの日々の入院生活に寄り添う中で転倒予防に力を入れております。

近年、高齢化が進み2015年には、総人口に占める65歳以上の割合は4人に1人と過去最高となっています。中には独居生活を送っている高齢者や、老老介護状態の高齢者がたくさんいます。このような状況で、更に介護が必要な状態に陥らないために、またQOL(生活の質)が低下しないように、入院中から在宅生活を見据え、患者・家族様と共に取り組む「転倒予防」について考え活動しております。

その中で私達は、昨年度より「転倒予防教室」を始めました。この教室の内容は、パンフレットを使用した転倒予防指導、転倒を予防する体操やレクレーションなどを行っています。毎週土曜日の午後45分程度、病棟デイルームにて、十数名の病棟患者さまを対象に行っています。この教室では、普段自分から動かない患者さまが大きな声を出し積極的に運動をする姿や、たくさんの笑顔を見ることが出来ます。活き活きしている患者さまの姿を見て、「こんなことが出来る力があるのか」と驚き、嬉しくなることが多々あります。もっともっと患者さま自身持っている力を発揮できる関わり・支援をしていきたいと思っております。そして、患者・家族さまを巻き込みながら転倒予防をすることで、健康寿命を延ばし少しでも長い在宅生活につなぐことが出来ればと考えております。



転倒予防パンフレット



「地域医療サービスセンター」では、「かかりつけ医」を探すお手伝いをしています。お気軽におたずねください。

あなたのまちのホームドクター



牛尾 一康(うしお かずやす) 院長

大阪市
東淀川区

牛尾整形外科

【診療科目】リウマチ科、整形外科、リハビリテーション科

患者様にしっかり話を伺い、
コミュニケーションをとることで
症状の原因が見えてきます。

今回ご紹介する「牛尾整形外科」は阪急上新庄駅北口から歩いて1分という大変アクセスの良いところにあります。院長の牛尾一康先生は大津赤十字病院や大阪赤十字病院を経て、平成17年まで当院で整形外科副部長として勤務され、急性期病院の第一線でご活躍されてきました。開業されて10年が経つ現在もリウマチ科・整形外科・リハビリテーション科の3科を標榜し、特にリウマチ診療



診療所外観

については積極的に発表や講演もされながら、常に患者様に最高水準の医療を提供されています。

「すでに継続して通院されている患者様もそうですが、初診の患者様は特にじっくりお話を伺います。いつ頃からどのような症状が出て困っているのかしっかり伺いますと、解剖学的な知識から原因がかなり特定できます。患者様としっかりコミュニケーションをとって話を引き出すことも正確な診断をする上で重要だと思っています」。穏やかな表情でそう語る先生のことばには豊富な臨床経験に裏打ちされた自信がうかがえます。



骨量検査(DEXA法)機器



診察台

またMRIやCTでの検査、他の診療科の専門医による手術や治療が必要な場合は、クリニックから信頼できる総合病院の予約を取っていただけます。牛尾整形外科はリハビリ設備も充実しているので、総合病院での治療が終わった後もまた継続して診ていただけるので安心です。

「患者様が安心して何でも相談できるクリニックでありたいと思っています」。優しい笑顔でそう話す牛尾先生のもとには、今日もたくさんの患者様が訪れます。整形外科をお探しの方はぜひ一度、牛尾整形外科を受診してみたいはいかがでしょうか。

牛尾整形外科

〒533-0004
大阪市東淀川区小松1-4-6
TEL.06-6320-7836
http://www.usbio-clinic.jp



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
14:30~17:30	○	○	×	○	○	×

●休診日：水曜・土曜午後、日曜、祝日



●アクセス：阪急京都線「上新庄駅」北出口から徒歩1分

● 第2回北野メディカルワンダーランド

未来のドクターの誕生？
15名の子ども達が真剣に取り組みました。

第2回北野メディカルワンダーランド(平成28年11月20日(日)開催)において、手術室では今回も手術体験を行いました。実際の緊急手術を模した疑似手術の見学のほか、電気メス・内視鏡手術・縫合や手術着での記念撮影など、子ども達が物に触れて楽しめる体験を実施しました。参加された15名の子ども達は、物々しい印象の手術室でも全く物怖じせず活発に体験をされ、テレビドラマとの違いなど興味津々質問される姿も見られました。来年も参加したい!との声も聞かれ、スタッフ共々とても楽しく、貴重な時間が過ごせました。



● 第4回災害対応訓練

総勢400名を超える
地域一体の災害訓練を実施しました。

平成28年10月23日(日)、病院を挙げての災害訓練を実施しました。今回は4回目ですが、訓練の規模は毎年大きくなり、病院だけではなく警察、消防の他、北区役所、北区医師会、北区薬剤師会、行岡病院看護学校の学生さん70名や一般市民の方々にもご参加していただきました。活動の範囲を病院内だけでなく扇町公園・扇町小学校にも広げました。

総勢400名を超える訓練はもはや一病院のものではなく、地域を挙げての合同訓練の様相を呈しておりました。いつかは実際に起こるであろう「災害」に対して、このような訓練を繰り返し備えていきたいと考えております。



● クリニクラウン来訪!

子ども達も、そのご家族も、そして
私達もたくさん笑い、楽しみました。



平成28年8月25日、小児病棟にクリニクラウンの方が来ていただきました。

クリニクラウン*とは「クリニック(診療所)」と「クラウン(道化師)」を掛け合わせた造語で、入院中の子ども達に笑顔を届けてくれる方々のことです。当院でも、小児がんや難病等と闘いながら、長期入院している子どもがたくさんいます。クリニクラウンの来訪は、辛い治療や刺激の少ない入院生活を過ごす子ども達だけではなく、その家族・医療従事者と一緒に笑い楽しむことができました。子ども達の笑顔は私たち看護師の宝物です。

※NPO法人 日本クリニクラウン協会所属

● 世界糖尿病デー2016

「世界糖尿病デー2016@北野病院」の開催報告。

毎年11月14日は国連によって公式に認定された「世界糖尿病デー」として、世界160カ国から多くの人びとが参加する世界でも有数の疾患啓発の日となっています。北野病院ではこの取り組みにあわせて、平成28年11月11日(金)に「世界糖尿病デー2016@北野病院」を開催しました。当院スタッフによる糖尿病や合併症の紹介展示や相談、血糖や筋力測定体験コーナーなどを設け、会場そばの5階レストランでは当日限定の「きたの栄養バランス御膳」を提供しました。お越しいただいたたくさんの皆さまから高い関心をよせていただいたとともに、とても楽しいひと時となりました。



患者様と北野病院をつなぐ連絡帳

きたの通信 No.59 2017.冬号

企画・製作/北野病院広報委員会 発行日/2017年1月31日
www.kitano-hp.or.jp/